

■カンボジアについて■

こんにちは。

島根・ビジネスサポート・オフィス担当の藤井邦夫です。

10月は、ベトナム・ホーチミンで METALEX という工作機械・金属加工の展示会が開催されていたため、11月に実施予定の視察ミッションの事前準備も含め視察に行ってきました。会場が一番驚いたのは、タイとの規模の違いです。（METALEX はタイ・バンコクでも開催されています。）来場者数（ベトナム約 14,000 人：タイ約 74,000 人）で約 5 倍の差がありますので、当然ですが出展企業数も大きく違っていました。図らずもタイの工業分野の産業集積を実感しました。



同じ会場内では JETRO 主催のビジネスマッチング（日系企業同士・ローカル企業とのマッチング）が行われていることも新鮮でした。来場者の方にお聞きするとこのイベントのためにハノイから来られている方も多くいらっしゃいました。

今まで島根・ビジネスサポート・オフィス便りでは、タイを中心に日系の進出企業の多いベトナム・インドネシアを紹介してまいりました。今回からは、ASEAN のその他の国について記載させていただきます。今月はカンボジアについて紹介いたします。

【カンボジア基本情報】

(データ出所：外務省 HP)

1. 正式国：カンボジア王国 (Kingdom of Cambodia)
2. 人口：14.7 百万人
3. 国土：18.1 万平方キロメートル (日本の約 2 分の 1 弱)
4. 首都：プノンペン (人口 200 万人)
5. 気候：熱帯モンスーン気候に属し、乾季と雨季に分かれる。



乾季 (11 月上旬～5 月中旬) 雨季 (5 月下旬～10 月下旬)

6. 民族：カンボジア人 (クメール人) が 90% とされている
7. 宗教：仏教 (一部少数民族はイスラム教)

～企業誘致に積極的 (外資規制がほとんど無い) / 魅力的な人口構造 / タイ + 1 ～

カンボジアで特筆すべき事は、外資規制がほとんどないということです。これは、参入障壁を低くして外国からの投資を奨励する政策をとっているためです。

東南アジアの多くの国で国内企業を保護する観点から外資参入が規制されている小売業やサービス業といった分野で、カンボジアでは独資で法人を設立することが出来ます。外国人 (外国法人) に認められないのは、土地を所有することなど限定的です。それ以外は法的に内国人と同様に取り扱われます。簡単に書いてしまいましたが、特筆すべき事項です。

1970 年代の独裁政権時代の影響により、人口の半数が 25 歳以下という特殊な人口構造になっているのも特徴です (30 歳以下労働人口 480 万人：年間 20 万人が新規労働年齢)。最低賃金が 2012 年の月額 61 ドルから、2013 年以降急速に上昇し、2015 年の最低賃金は月額 128 ドルと過去 3 年で 2 倍になりましたが、タイと比較すれば依然として、人件費は低い水準にあります。

カンボジアは、東はベトナム、北西はタイ、北はラオスと国境を接する場所に位置する国です。立地にも恵まれ、タイ・ラオス・ベトナムの受け皿として機能することが期待されます。例えば、タイをマザー工場として、カンボジアへ労働集約的な製造工程の一部を移管するようなケースが想定されます。実際、工業団地や経済特区はタイ・ベトナムの国境付近と首都であるプノンペンに集中しています。国としてもタイ・ラオス・ベトナムを意識している表れです。バンコクから陸路で 3 時間半の距離に豊富な労働力を有しているというのが、カンボジアの強みの一つとなります。



2015年10月

その反面、インフラ整備が十分でない部分もありますし、許認可基準が不透明なこともあります。製造業にとっては、電気代が割高（ベトナムの2～3倍、タイの1.5倍）な上、電力供給が不安定な点などもデメリットとして挙げられます。

～プノンペンの町並み～



☆☆タイから便り☆☆

～バイクタクシー～

バンコク市内を歩いていると、必ず見かけるのがバイクタクシーです。バイクタクシーは東南アジアでは一般的な光景かと思います。タイのほか、ベトナム・カンボジアでも同じような習慣があります。

私の通勤途中にもバイクタクシー乗り場があり、朝は多くの学生が並んでバイクタクシーを待っています。スカートをはく女性もリアシートに横乗りして器用に乘っている様子などは、少し危なっかしく感じます。

バイクタクシーにはメーター等はなく金額は運転手との交渉によります。とは、言っても距離・場所によって20パーツから30パーツ程度(100円弱)と、大体相場が決まっています。

また、近距離移動がメインですのであまり遠くの行き先を指定すると断られる事がほとんどです。どうやら営業エリアが決まっているようです。エリアによって、運転手が着用するベストの種類・色が違う事もあります。

その証拠に、ソイ(小路)の入り口にたむろしている同じベストを来た人の集まりがそのエリアのバイクタクシーの待合所となっています。街で走っているバイクタクシーを止めて乗ることもできます。

同じようなベストを着ていますが、ユニフォームのようなもので日本のタクシーのように国や政府の認可を得て営業しているというわけではありません。渋滞の間を器用にジグザク運転ですり抜けていきますので、渋滞知らずで早いというのがメリットですが、デメリットはやはり安全面かと思います。

島根・ビジネスサポート・オフィス Shimane Busuiness Support Office(Bangkok)

担当；藤井 邦夫 Kunio Fujii

Address :1 Glas Haus Building, 12 FL., Room 1202/D,Soi Sukhumvit 25,
Sukhumvit Rd.,Klongtoey-Nua,Wattana,Bangkok 10110

Tel :+66-(0)-2-261-10588

Mobile : +66-(0)-89-200-7763

Mail : shimane-bizsup@aapth.com



お気軽にご連絡ください。

当拠点の運営法人(島根県より業務委託)

■アジア・アライアンス・パートナー・ジャパン株式会社 <http://www.aapjp.com/index.html>

タイを中心に、ベトナム・インドネシア・インドにて主に日系中堅・中小企業様のアセアン進出や進出後の会計税務法務を中心とした運営支援業務を行っております。

ワンページタイ経済

項目	単位	2012	2013	2014	2015
GDP 成長率	前年比ベ(%)	7.3	2.80	0.9	2.9(1-6月)
人口*	千人	68,035	68,382	67,065	67,207(7月)
労働者の数*	千人	39,821	39,808	38,963	38,941(8月)
失業率**	%	0.66	0.72	0.84	0.93(8月)
最低賃金* バンコク	パーツ/日	300	300	300	300
チョンブリー		273	300	300	300
アユタヤー		265	300	300	300
ラヨーン		264	300	300	300
賃金:全国製造業の平均	パーツ	10,159	11,066	12,074	12,220(8月)
インフレ率**	前年比ベ(%)	3.00	2.19	1.90	▲0.89(8月)
中央銀行政策金利*	%	2.75	2.25	2.00	1.50(9月)
普通貯金率**	%	0.75	0.68	0.59	0.59(9月)
ローン金利(MLR) **	%	7.29	7.16	6.96	6.77(9月)
SET 指数*	1975年:100	1,391.93	1,298.7	1,497.7	1,349.0(9月)
パーツ/100円**	パーツ	38.98	31.53	30.77	27.91(9月)
パーツ/米ドル**	パーツ	31.08	30.73	32.48	33.72(9月)
円/米ドル**	円	79.79	97.6	105.84	120.9(9月)
車販売台数(1月からの累計)	台数	1,428,628	1,337,631	884,346	514,494(8月)
BOI 認可プロジェクト	件数	2,262	2,016	1,662	1,563(1-8月)
BOI 認可プロジェクト金額	10億パーツ	983.9	1,027.3	729.4	542.2(1-8月)

*期末、**平均